

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の結果を踏まえた 競技力向上対策について

1. 大会概要

(1) 大会開催期日

令和5年10月7日(土)～10月17日(火)

[会期前:9月16日(土)～24日(日)]

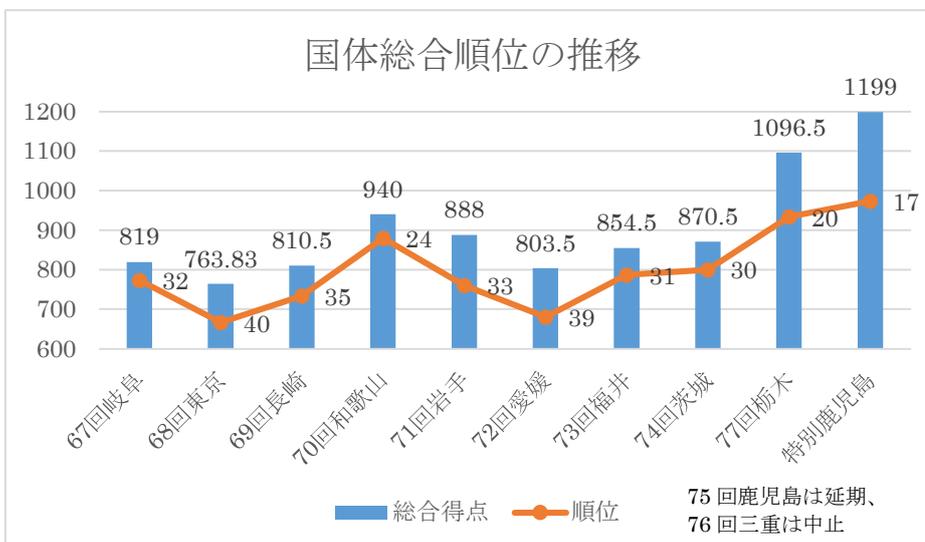
(2) 滋賀県選手団概要(本国体)

顧問:4名、本部役員:29名(帯同ドクター7名含む) 監督:58名、選手359名 計450名

(3) 今大会の成績

男女総合(天皇杯)成績 17位 1,199.0点 女子総合(皇后杯)成績 15位 669.5点

目標		結果
総合成績(天皇杯順位)	10位以内	17位
本国体入賞数	115種目以上	99種目
近畿ブロック大会突破数	65種目以上	54種目
突破数+次点数の割合	70%以上	65.9%
成年種別獲得得点	650点以上	569.0点
少年種別獲得得点	350点以上	230.0点



特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の本県選手団の成績は、男女総合(天皇杯)1199点を獲得し17位であった。目標に掲げた項目はいずれも達成することはできなかったものの、昨年よりも総合得点・順位を上げ、2巡目が始まった京都国体以降の最多得点・最高順位を更新した。

なお、今年度から強化の進捗具合を計る指標として設定した「近畿ブロック大会の突破数+次点数の割合」については、目標には至っていないものの、昨年度比11.4ポイントの上昇となった。

2. 結果分析

(1) 種別 ～成年の躍進により順位・得点が増加～

成年種別では、男女ともに競技得点が向上した。そのうちスポーツ特別指導員およびふるさと選手が関わる競技・種目で計 369 点（前年比+192 点）を獲得、競技得点を伸ばす要因となっている。

少年種別については、有力団体競技が次点で本国体出場を逃した影響もあり、入賞数・得点数ともに減少する結果となった。一方で、2025 年の主力となるターゲットエイジから 51 名が出場し、8 種目で入賞、56.5 点の競技得点獲得に貢献するなどの活躍が見られた。

種別	滋賀県の競技得点（入賞数）					（参考：特別国体上位県）	
	72 愛媛国体	73 福井国体	74 茨城国体	77 栃木国体	特別鹿児島国体	東京都	鹿児島県
成年男子	128.0 (23)	136.5 (23)	135.5 (17)	242.5 (37)	313.0 (35)	528.0 (56)	693.0 (64)
成年女子	116.0 (7)	50.5 (9)	112.5 (12)	185.0 (22)	256.0 (31)	578.5 (59)	492.0 (51)
少年男子	153.5 (16)	176.5 (18)	166.5 (21)	196.0 (27)	166.5 (25)	486.0 (49)	348.5 (36)
少年女子	6.0 (1)	91.0 (11)	56.0 (7)	73.0 (9)	63.5 (8)	482.0 (41)	227.8 (21)
競技得点計	403.5 (49)	454.5 (61)	470.5 (57)	696.5 (95)	799.0 (99)	2,074.5 (205)	1,761.3 (172)
参加点	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0
合計	803.5 (49)	854.5 (61)	870.5 (57)	1,096.5 (95)	1,199.0 (99)	2,474.5 (205)	2,161.3 (172)

(2) 得点分類別 ～3倍種目で入賞数が大幅増～

昨年比で 106.5 点の上積みをもたらした3 倍種目（2～4 名：ボウリング 2 人戦等）の躍進が、今大会での得点増加の主な要因であり、1 倍種目（個人種目）と併せ、スポーツ特別指導員等による選手補強の効果があらわれた結果となった。

一方、5 倍種目（5～7 名：バレーボール等）、8 倍種目（8 名以上：ホッケー等）において、近畿ブロック突破数+次点数は増加（R4:22→R5:28）しているものの、全体の約 6 割に留まっていること、本国体出場・入賞を果たしうる実績のある競技で今回得点できなかったことも併せ、総得点への貢献は依然限られたものとなっている。

得点分類	滋賀県の競技得点（入賞数）					（参考：特別国体上位県）	
	72 愛媛国体	73 福井国体	74 茨城国体	77 栃木国体	特別鹿児島国体	東京都	鹿児島県
1 倍種目	130.0 (30)	185.5 (46)	193.5 (41)	352.5 (80)	363.0 (76)	755.5 (143)	540.8 (115)
3 倍種目	132.0 (10)	94.5 (9)	129.0 (11)	84.0 (7)	190.5 (15)	571.5 (35)	424.5 (28)
5 倍種目	97.5 (6)	22.5 (3)	100.0 (4)	160.0 (6)	197.5 (8)	627.5 (24)	604.0 (23)
8 倍種目	44.0 (1)	152.0 (3)	48.0 (1)	100.0 (2)	48.0 (1)	120.0 (3)	192.0 (6)
競技得点計	403.5 (49)	454.5 (61)	470.5 (57)	696.5 (95)	799.0 (99)	2,074.5 (205)	1,761.3 (172)
参加点	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0
合計	803.5 (49)	854.5 (61)	870.5 (57)	1,096.5 (95)	1,199.0 (99)	2,474.5 (205)	2,161.3 (172)

(3) 競技別得点 (東京都・鹿児島県との比較)

競技別得点(過去10大会・滋賀県)と、特別国体での東京都・鹿児島県の得点

国 体 回 数	67回	68回	69回	70回	71回	72回	73回	74回	77回	特別	(参考) 特別・東京	(参考) 特別・鹿児島
陸 上	37.0	16.33	23.0	13.0	18.0	12.0	39.0	12.5	69.0	55.0	89.5	70.8
水 泳	23.0	9.5	13.0	9.0	14.0	23.0	4.0	22.0	34.5	28.5	350.0	65.5
サ ッ カ ー											88.0	112.0
ス キ ー									3.0	11.0	7.0	0.0
テ ニ ス					21.0						45.0	45.0
ロ ー イ ン グ	22.0	54.5	25.0	84.0	76.0	84.0	27.0	58.0	64.0	135.0	147.0	34.0
ホ ッ ケ ー	80.0	44.0	20.0	104.0	84.0		152.0	48.0	100.0	48.0	0.0	40.0
ボ ク シ ン グ											21.0	26.0
バ レ ー ボ ー ル	35.0		17.5	35.0	30.0	37.5	7.5	40.0	25.0		81.5	85.0
体 操	3.0	6.0			5.0						87.0	85.0
バスケットボール		12.5						27.5	40.0	35.0	87.5	0.0
レ ス リ ン グ	23.0	25.5	26.0	23.5	28.5	29.5	23.5	22.5	35.0	13.5	59.0	48.5
ス ケ ー ト	5.0					5.0	1.0	12.0	24.0	11.0	84.0	30.0
セ ー リ ン グ	13.0	7.0	15.0	5.0	4.0	13.0	17.0	5.0	32.0	33.0	59.0	37.0
ウエイトリフティング	12.0	17.0	31.0	9.0	21.0	10.0	29.0	40.0	45.0	52.0	57.0	30.0
ハ ン ド ボ ー ル											47.5	85.0
自 転 車	3.0	2.0				6.0				8.0	33.0	72.0
ソ フ ト テ ニ ス											0.0	20.0
卓 球											37.5	31.5
軟 式 野 球											32.0	0.0
相 撲											30.0	12.5
馬 術	4.0	24.0	15.0	27.0	39.0		15.0	7.0	45.5	40.0	18.0	94.0
フ ェ ン シ ン グ											69.0	27.0
柔 道	12.5				7.5	25.0			42.5	52.5	82.5	52.5
ソ フ ト ボ ー ル						44.0					0.0	40.0
バ ド ミ ン ト ン	25.5	15.0				15.0				28.5	33.0	0.0
弓 道							13.5	18.0		9.0	3.0	105.0
ラ イ フ ル 射 撃	27.0	31.0	23.0	25.0	14.0	10.0	15.0	24.0	35.0	57.0	50.0	25.0
剣 道		25.0									47.5	144.0
ラグビーフットボール											25.0	35.0
スポーツクライミング							30.0	21.0		27.0	84.0	30.0
カ ヌ ー	73.0	45.0	117.0	120.0	50.0	57.0	59.0	76.0	62.0	71.0	45.0	79.0
ア ー チェリー	21.0	27.0	42.0	66.0	57.0	3.0			18.0	21.0	9.0	9.0
空 手 道		2.5		2.5		2.5				22.0	15.0	90.0
銃 剣 道			15.0			21.0					0.0	42.0
ク レ ー 射 撃												
な ぎ な た											21.0	42.0
ボ ウ リ ン グ			3.0	7.0			12.0	17.0	15.0	33.0	37.0	3.0
アイスホッケー			25.0	10.0	15.0	5.0	10.0	20.0			55.0	0.0
ゴ ル フ											30.0	0.0
ト ラ イ ア ス ロ ン					4.0				7.0	8.0	8.0	14.0
合 計	419.0	363.8	410.5	540.0	488.0	402.5	454.5	470.5	696.5	799.0	2074.5	1761.3

※網掛けは、過去5大会で3回以上入賞実績のある競技

3. 「わた SHIGA 輝く国スポ」に向けた対応

今回の特別国体における東京都、鹿児島県の獲得得点を見ても、ほとんどの競技で得点しており、とりわけ獲得得点の大きい団体競技で得点を重ねていることが判る。

翻って本県の状況を見ると、一定の成果は見られるものの、依然多くの競技・種別において得点を得られていない状況である。

今後、成年選手確保計画の進捗や、ターゲットエイジ世代の成長に伴い、開催年の出場想定選手の編成がより明確になってくることから、これらの選手を集中的に強化することで、開催年において上位県を超えて入賞・得点できる実力を養っていく必要がある。

このため、各競技団体と連携のうえ、以下の対応を図る。

		鹿児島国体 (実績)		滋賀国スポ (想定)	必要な積上げ
総合得点		1199.0 点	→	2500 点	
参加点		400.0 点		400 点	
競技得点合計		799.0 点		2100 点	1301.0 点
競技得点	成年男子	313.0 点		750 点	437.0 点
	成年女子	256.0 点		600 点	344.0 点
	少年男子	166.5 点		450 点	283.5 点
	少年女子	63.5 点		300 点	236.5 点
得点競技 /本大会出場競技数		22 競技 /35 競技		40 競技 /40 競技	

- (1) 令和 6-7 年度における強化計画(ロードマップ)の立案と、強化事業の質・量の充実
 - ・ 日常練習や合宿の回数増を折り込んだ 2 か年一貫の計画を立案
 - ・ 「質」の充実(全国大会上位チームとの強化練習試合の設定 等)
 - ・ パフォーマンス向上に向けた医科学サポートの積極的活用
- (2) 各競技における「目標・強化方針・スケジュール」の共有
 - ・ 各競技における「獲得すべき点数」の明確化
 - ・ 活動の円滑化を図るため、強化方針・事業スケジュールを、強化スタッフだけでなく、選手や保護者、所属元(学校、企業)と共有
- (3) 上位入賞県の選手・戦力情報の収集・分析
 - ・ 東京都をはじめとする対戦相手の戦力や戦術を把握、強化事業に反映
- (4) 選手構想に基づく選手確保【成年種別】
 - ・ 「成年選手確保計画」に基づくスポーツ特別指導員、企業所属選手等の獲得
 - ・ 県外で活躍するトップ選手の「ふるさと選手」としての出場協力依頼
- (5) 強化指定選手の絞り込み【少年種別】
 - ・ ターゲットエイジ強化指定選手を精選、練習の質・量の向上のみならず、試合経験の充実を図る

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」結果概要について

1. 大会概要

(1) 大会開催期日

令和5年10月28日(土)～10月30日(月)

(2) 滋賀県選手団概要

本部役員:12名、監督・コーチ:24名、選手29名 計65名

(3) 今大会の成績

金メダル:22種目、銀メダル:10種目、銅メダル:4種目 計36種目

(参考:前回(R4)栃木大会 金メダル21種目、銀メダル12種目、銅メダル7種目)

【出場競技別選手数の推移】 ※茨城大会は直前に中止決定のため出場予定人数

		福井大会	(茨城大会※)	栃木大会	鹿児島大会
陸上競技	(身体)	4	5	4	4
	(知的)	7	6	6	6
水泳	(身体)	2	2	2	2
	(知的)	1	2	2	2
アーチェリー	(身体)	1	1	1	1
卓球 (サント、テーブルテニス 含む)	(身体)	2	2	2	2
	(知的)	2	2	2	2
	(精神)		2	1	1
フライングディ スク	(身体)	3	3	2	3
	(知的)	2	2	3	2
ボウリング	(知的)	2	2	2	2
ボッチャ	(身体)			2	2
団体競技		13(ソフトボール)		14(ソフトボール)	
				12(グラフソフ*)	
計		39	29	55	29
大会新記録		4	—	1	3

*グランドソフトボール

2. 結果総括と今後の対応

- ・ 総獲得メダル数では前回栃木大会に及ばないものの、個人競技においては大会新記録更新での金メダル3種目を含む22種目で金メダルを獲得することができた。
- ・ 団体競技での大会出場は残念ながら叶わなかったが、昨年度は選手不足で出場できなかった4種目のうち、今年度は3種目が近畿予選会に出場することができた。
- ・ 開催年の目標である「全種目(個人12種目・団体12種目)出場」に向け、今年度より強化指定選手を順次拡大、競技別練習会の頻度を拡大し育成に努めているところ。
- ・ 併せて、開催年の出場枠に不足する選手(29人)の確保、選手をサポートするスタッフの充実に向けた取組を実施中。(参考:開催年の想定出場選手数:303人)
- ・ 佐賀大会および「わた SHIGA 輝く障スポ」において、本県選手団がいきいきと活躍できるように、今後は強化指定選手がより練習に参加しやすい環境整備、大学生等による「練習パートナー」の育成・強化事業への参画などの取組の充実を図る。